

平成25年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493800120	事業の開始年月日	平成19年10月1日	
		指定年月日	平成19年10月1日	
法人名	株式会社ニチイ学館			
事業所名	ニチイケアセンター荏田東			
所在地	(224-0006) 神奈川県横浜市都筑区荏田東4-18-23			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成25年10月3日	評価結果 市町村受理日	平成26年2月4日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>お客様のADL低下防止のため、ホームに隣接した緑に囲まれた遊歩道の散歩や体操、レクリエーション、食前体操など行っています。 庭の畑ではゴーヤ、茄子などたくさんの野菜を作り、ぬか漬けや料理を楽しんでおります。 お客様と職員がまるで本当の家族のように接し、笑顔で穏かに過ごしています。</p>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成25年10月29日	評価機関 評価決定日	平成25年12月9日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の概要】 この事業所は横浜市営地下鉄のセンター南駅から徒歩15分くらいの、大きな都筑中央公園を抜けたところにある。この事業所に隣接した公園は豊かな自然があり、利用者は春の桜や新緑、秋の紅葉など四季折々の季節の移ろいを楽しんでいる。公園は格好の散歩コースにもなっている。事業所の廻りには高い建物もなく終日陽光の入る明るい住環境にある。敷地内には菜園のスペースがあり、利用者は四季の野菜作りとその料理が楽しみとなっている。1階ベランダでは外気浴の場や椅子テーブルを出してお茶などでくつろぐことができる。</p> <p>【理念の具体的な実践に努めている】 玄関には職員と利用者共同で創った事業所理念のポスターがある。理念を大地に伸びた大きな木になぞらえ、ホームの理念を具体的に実践するためのキーとなる「学び」「気づき」「トライ」「チャレンジ」「発見」「プロ意識」「実現」などの言葉を幹に掲げて共有し、理念の実践に努めている。利用者や職員の明るい笑顔がホーム全体にあふれている。</p> <p>【信頼関係から生まれるチームワーク】 開設以来のホーム長を中心に職員同士の信頼関係も厚く理念の周知が図られ、チームワークで接する職員の笑顔や真心の姿勢が利用者に反映し、いつも明るい暮らしが出来るよう支援している。</p> <p>【看取りへの積極的な取り組み】 看取りの体験の振り返りや協力医による「看取りの対応」などの研修が行われ、職員は積極的に取り組んでいる。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ニチケアセンター荏田東
ユニット名	わかば

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

事業所名	ニチケアセンター荏田東
ユニット名	そよ風

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	その人らしい暮らしを支えていけるよう、理念を設けている。入社時には必ず理念の説明と理解を得ている。また日々念頭におけるよう、事務所、スタッフルームにも理念を掲げている。	ホーム独自の理念は1階事務室、2階休憩室に掲示して職員は共有している。特に「笑顔」を重視し、常に「笑顔を忘れない」のモットーを周知徹底したケアに努めている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会や行事に参加をする事により、お客様が自然に地域の一員として日常的な交流が出来るよう事業所全体で取り組んでいる。	自治会に加入し、公園の清掃に利用者、職員も毎年参加している。地元の祭りにも参加し、出店のチケットが配られるので屋台の飲食を楽しんでいる。ボランティアの訪問も多く、三味線、舞踊、プロ歌手が来て楽しんでいる。事業所では地域の若い人達との交流を広げようとしている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方が気軽に立ち寄れるような事業所を目指している。時には個人的な相談および助言を行う事もある。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回活発な意見交換を行いサービスの向上に努めている。	運営推進会議は3~4ヶ月毎に開催している。参加メンバーは自治会長、民生委員、家族代表である。行政や地域包括支援センター担当職員は日程の調整がつかず参加していない。家族からは「散歩の機会を多く」などの要望をもらっている事例がある。	行政や地域包括支援センター担当者などには事前に日程の調整をし、参加を求めることで出席の可能性が広がります。更にメンバーを広げて会の充実を図り、外部の意見や情報を活用することでサービスの向上に向けた取組みを期待します。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市や他のグループホームとの連携をとりながら、サービスの向上に努めている。	市町村との具体的な連携はあまりない。区からの入居相談や事業所の空き状況の情報交換をしている。保健所の食中毒予防研修に出席したり、消防署の救命救急講座に出席予定である。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関、フロア、居室、全て施錠しない方針で周知徹底、利用者の安全に配慮した見守りをする事でこれに対応している。</p>	<p>厨房はオープンなつくりで、事務所からもリビングや居室廊下などの見守りが出来ている。不適切な言葉があればその場で職員相互で注意する。ミニ研修をして拘束のないケアに努めている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>個別カンファレンスを利用し、身体変化、言葉遣い等、虐待の有無の確認、発生防止に努めている。また、虐待について職員同士が確認し合う事で虐待防止に繋げている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修参加やケア会議で学ぶ機会がある。常にカンファレンスで経過を確認しあっている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>ホーム長が対応している。利用者およびご家族が納得して頂けるよう十分な対応時間を設けている。また不明な点があればいつでも対応できるよう配慮している。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に苦情箱を設置している。来訪時に家族の意見を聞き、介護や運営に反映させている。</p>	<p>家族会は設けていない。面会時やケアプラン作成時に要望や意見を聞くようにしている。家族から「もっと歩行を増やしてほしい」「外食の機会を増やしてほしい」などの要望が寄せられている。要望をかなえるためにシフト調整などで対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のユニット会議で職員からの意見や提案などを聞き、運営に反映させている。	ユニット会議で要望、意見を聞いている。管理者は常に職員が意見を言える雰囲気を作っている。散歩の機会を増やすため、職員の役割分担の見直しなどをして時間の調整をすることで要望を反映させた事例がある。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	保有資格の資格手当や処遇改善給付金を行い、働きやすく、やりがいのある職場作りに努めている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の社内外の研修参加や、資格取得の励行を行う事で、スキルアップの機会を設けている。また新人職員には指導者が付き添う事で、能力の向上に努めている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム協議会に入っており、年間を通じた会議や研修に参加している。常にサービスの向上に努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	可能な限りの情報を収集、書類として作成しておく事で全職員がお客様の現況を把握出来るように努めている。また、サービス開始時から利用者が自身の事を職員に伝えやすい環境であるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族との面談を通し、要望や不安等を聞き、出来る限りの対応をしている。また、記録に残す事で現場職員への伝達が円滑に出来るよう勤めている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>サービスの開始に関しては、ホーム長が対応しケアマネ、リーダーと相談しながら対応を検討している。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>介護する側も安らぎや勇気を頂いており、一方的ではなく助け合える関係作りをしている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族の精神的負担や本人にとって何が最適なのかを考え関係を築いている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人が大切にしてきた物や、記憶が途切れないような支援に努めている。</p>	<p>手紙や電話の発信継続を支援している。誕生日には家族の協力で馴染みのところに外出している。入居の長い人は、散歩やスーパーなど近所での買い物も馴染みとなっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの方が居心地の良い生活を送れるよう、一人ひとりの生活や生活リズムを把握し、人間関係が円滑に行くように努めている。お客様同士助け合い相互援助の関係性が出来てきた。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後入院したお客様へは面会を行い、家族へはほほえみだよりや手紙を送付し、様子をお伺いしている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の会話の中で、利用者が気軽に要望を伝えられる環境であるよう配慮している。	日常の会話や声掛けで把握している。意思表示の困難な人は身振りや素振り、表情などで意向をくみ取るように努めている。センター方式のアセスメント表を使ってプランに反映している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者本人、ご家族から今までの生活について把握し、可能な限り生活のスタイルを崩さないようなケアが出来るよう努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりの生活を観察、記録に残す事で、現状の把握、および改善に繋がるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	常に情報を共有し、毎月のケアカンファレンスで個別の状況を確認しあい、日々のケアの中で、ご家族の面会時に希望や意見を伺いそれを元に介護計画を作成している。	介護計画は長期6ヶ月、短期3ヶ月で目標設定をしている。モニタリングは3ヶ月に1回行ない、その際サービス担当者会議を行っている。職員は全員で共有している。ケアマネジャーは計画策定にあたって、職員の他、利用者一人ひとりと会話してプランの更新に反映している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の生活の中での気づきや変化を介護記録に記録し、周知したい事は申し送りノートに記録している。全員が申し送りノートに目を通す事で情報の共有に努めている。また介護計画を作成している。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ケアプランは必要に応じて随時変更できるものとしており、当事業所においてサービス提供支援については地域ケアプラザに紹介している。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩などを通して、近隣住民の方々に顔を覚えて頂ける機会を設けている。また、様々な地域行事に参加し、交流を図る事で、より豊かな生活になるよう支援をしている。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	体調や気になる事がある時は家族とも相談し随時往診をして頂いている。往診医と看護師が中心となり、連携に努めている。	協力医（内科）の往診は月2回である。歯科は週1回の往診、皮膚科や眼科は家族対応となっている。協力医は5週目の往診日には「終末期、緊急時対応」などのミニ講習会を開催することもある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護師により週1回の健康チェックを受け、管理記録に確認事項を記録し、日頃の対応や往診時の参考にしてている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院関係者と常に情報交換、連絡を取り合い、早期退院を目指している。また、医師からの病状説明の場には、ご家族了承の下、同席し、退院時の受け入れ態勢が円滑に行えるよう努めている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合や終末期のありかたについては入居時に簡単に話している。状態変化の場合は医師とも相談し家族の意思確認をし、看取り介護マニュアルに沿って進めていく。</p>	<p>看取りは年初3月にも家族の希望で実施している。看取りに当たっては、ミーティングの回数を増やし情報の共有に努めている。体験の振り返りも行い、スキルアップを図っている。重度化について、夜間の緊急時には夜勤者から管理者、看護師・医師への連絡体制が出来ていて安心したケアが出来る。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変は個別対応の説明や記録をしている。事故発生時はマニュアルに沿った対応を行う。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時には町内会の協力を頂けるようになっている。消防避難訓練を実施する際には、地域の方々に参加を呼びかけ、協力をお願いしている。</p>	<p>避難訓練は4、9、10月に実施している。10月は消防署も立ち合い、正しい避難方法の指導を受けている。非常時の食料、水を3日分備蓄している。訓練時には地域へ参加を呼び掛けている。</p>	<p>備蓄品は階段の踊り場の一角に保管されています。備蓄品を建物内に分散したり、屋外の収納庫など保管場所の確保を期待します。</p>

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
を					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員同士で声かけの仕方は話し合っている。家族面会時などはお茶をお出しする時以外は入室を遠慮するなどのプライバシーには気をつけている。	他の人のいるところで服薬や体調のことなど個人的な話しはしない。家族の面会の少ない人の前では面会者の話は慎むなどプライバシーの配慮に周知徹底をしている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来るだけ本人の意思で生活できるように希望を聞いている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人のペースに合わせたケアを行っている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理美容は定期的に依頼している。衣類は清潔を保ち、身だしなみにも気をつけている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 シミである	会話の中で好物等を聞いている。毎食後の後片付け、下ごしらえなどを一緒に行っている。	食材は地元で購入し、1日1400キロカロリーを目安に献立を考え、すべて手作りで食事を提供している。食事の内容は誤嚥などに最大限に注意をして、利用者に応じて固さや大きさを変え、4種類の形体で提供している。行事食や誕生日の手作りケーキ、惣菜作りなども楽しみである。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員同士で情報の共有をし食べられる量を提供している。水分量は全員の一覧表を作り把握記録している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨きの声かけをしている。介助の必要な方にはそれぞれ介助を行っている。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作り、介助の必要な方はパターンで誘導する事で失敗が少なくなる様に支援している。オムツの使用枚数を極力控えるよう努力している。	排泄チェック表で一人ひとりのパターンを把握し、オムツを出来るだけ使用しないケアに努めている。自立の利用者にも形状をチェックして健康管理の徹底を図っている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を利用し、日々の排泄を確認、便秘の予防に役立てている。また、日々の食事において繊維質の豊富な物、野菜を多めに使用する等、工夫している。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	見守り介助や全介助の方が多く中々希望に添えないが、自立の方には希望時にシャワー浴等なるべく希望に応じている。便失禁の時などは随時シャワー浴対応している。	入浴は週2~3回、午前中に行っている。希望によっては毎日、一番湯などの希望を叶えている。入浴したがる人には無理せず、職員が交代したり、声掛けの工夫などして、少なくとも週1回は入浴できるようにしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様の生活習慣や体力などを気にかかけ、休息して頂いている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報を元に理解している。服薬介助は二名で確認するダブルチェックを行い、誤薬・忘れのないよう十分注意している。薬の変更等があった場合は薬局と連携し、説明を受けている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌が好きな方が多いのでカラオケ、歌番組などで盛り上がっている。毎日のように散歩や畑仕事など様々な楽しみを支援している。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩、買い物等外出の機会を設けている。家族との外出などもある。	散歩は4つのコースがあり、天気の良い日は毎日出かけている。利用者の個別の散歩表を作って散歩回数などを把握するようにしている。近くの公園への散歩はあづま屋で弁当を楽しんだり、スーパーで買い物を楽しむ機会がある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人希望と家族了解の元でお金を所持して自由に使っている方がいる。基本ホーム管理になっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望者は自由に出来るようになっている。取次ぎ等も行っている。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	心地良い音楽をかけたり、室温管理などを行っている。	リビング兼食堂は東側に面し、明るい共有空間である。和室があり、椅子も備えテレビやカラオケなどでくつろぐことが出来る。壁には職員と共同で制作した貼り絵などが多数飾られているほか、季節感を出すような絵や手作りの作品が貼られている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気のあった人と座席を近くにしたり等気配りしている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日掃除を行い清潔に努めている。使い慣れた物を持ち込んで頂き安心出来る環境作りに努めている。	エアコンやクローゼット、照明、カーテン、ベッドは事業所で備えている。入居者はテレビやタンス、テーブル、仏壇など思い思いの家具調度品を持ち込み、以前と変わらぬ暮らしをしている。誕生日のプレゼントなども大事に飾ってあった。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者一人ひとりの能力を把握し、QOLの維持、向上の為に自立支援を行っている。また、安全面も考慮して支援にあたっている。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 ニチイケアセンター荏田東

作成日 平成26年1月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議に関して	行政や地域包括支援センターの方々の参加が少ないため、今後は参加を増す。	行政や地域包括支援センターに参加して頂けるよう依頼していく。	12ヶ月
2	13	地域との協力体制を築いて防災災害時に備えたい。	地域消防団との連携をより一層図り協力体制の強化。	運営推進会議への参加と防災訓練への参加を呼びかける。	12ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。